

## 横須賀市廃棄物減量等推進審議会（第78回）議事概要

- 1 日 時 令和5年(2023年)3月16日(木) 午後2時00分から3時30分まで
- 2 場 所 横須賀市役所 消防局庁舎4階 災害対策本部室
- 3 出席委員 青委員、上田委員、織田委員、嘉山委員、菊田委員、佐藤委員、  
関矢委員、藤田委員、長谷川委員、米村委員
- 4 事務局 環境部 山口部長  
環境政策課 佐藤課長、菱沼係長、大野田係長、大野、中村  
廃棄物対策課 関澤課長  
環境施設課 府馬課長  
広域処理センター 山本所長  
久里浜収集事務所 夏目所長
- 5 傍聴者 なし

### 6 議事内容

#### 開会

- ・事務局が交代した委員を紹介
- ・事務局が令和3年度から変更のあった事務局職員を紹介
- ・事務局が定足数である半数以上の委員の出席を確認し、会議の成立を報告

#### 議事

- (1) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進行管理（令和3年度実績）について  
（廃棄物減量等推進審議会（第77回）の意見等への対応）

#### ○佐藤委員長

それでは議事に入ります。「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進行管理（令和3年度実績）」について、事務局より説明をお願いいたします。

#### ○事務局

（資料1について説明）

#### ○佐藤委員長

ありがとうございます。今回が令和3年度までのごみ処理基本計画の最後の進行管理になります。前回書面でご意見やご質問等をいただき、それについて事務局から回答がありました。事務局からの回答を踏まえて、意見や追加で確認したいことがある方いらっしゃいます

か。

○佐藤委員長

次の議題が令和4年度からの新しいごみ処理基本計画の進行管理についてですので、それと比較して改めて意見や質問等あれば後ほどご発言いただければと思います。

## (2) 新たな一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進行管理（案）について

○佐藤委員長

続きまして、「新たな一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進行管理（案）について」の説明を、事務局よりお願いいたします。

○事務局

（資料2について説明）

○佐藤委員長

ありがとうございます。令和4年度の進行管理は、来年度のいつ頃の審議会で行いますか。

○事務局

来年度の9～10月頃に開催する審議会で一度お示しして、確定するのは来年度の終わり頃を想定しています。

○佐藤委員長

進行管理における評価や取組実績は、年度を重ねるごとに付け加えていくということでしょうか。

○事務局

おっしゃるとおりです。

○佐藤委員長

進行管理として示してほしい点などのご意見がありましたらいただきたいと思います。ご質問、ご意見等のある方はいらっしゃいますか。青委員いかがでしょうか。

○青委員

3ページ等に評価や取組実績について記入する欄がありますが、ごみをただ減らすのではなく、何のために削減するのかといった理由が重要だと思います。

何の目標のためにやるのか、いつまでにどういう形で取組を実施するのか、そしてそれをどのように評価するのか、この進行管理からはイメージできませんでした。

重点施策にある「プラスチックごみの削減、資源化の推進」でいうと、プラスチックのど

こを対象として一番減らしていくべきところなのか考える必要があると思います。

プラスチックごみの削減は地球温暖化にも関わりがあります。昨年の9月からスウェーデンで過ごしていましたが、スウェーデンではプラスチックごみの削減で実際にCO<sub>2</sub>の排出量がどれくらい削減されるか、市民に対して見える化しています。

また、プラスチックにおいて問題点がどこなのかを考えた際に、幼稚園や保育園からプラスチックを徹底的に削減し、まずは子供の健康を守ることをスタートとしており、削減すべき対象がどこなのか、また、削減する理由は何か、削減する量がどのくらいなのか明確にしています。

#### ○佐藤委員長

ありがとうございます。プラスチックを中心に、スウェーデンでの経験も踏まえたご意見をいただきました。資料2の進行管理は、令和3年度に審議した新しいごみ処理基本計画に基づいています。

プラスチックの削減に関して、新しいごみ処理基本計画における位置づけや今後の流れ、目標等を事務局から補足いただけますでしょうか。

#### ○事務局

令和4年度からの進行管理となるため現段階では空欄となっており、各年度の実績をきちんと明記できれば評価していただきやすくなると考えています。

また、プラスチックの削減について、幼稚園や保育園から削減していくといった事例は新たな視点として参考にさせていただきます。

横須賀市では、令和4年の4月に施行されたプラスチック資源循環促進法に基づき、久里浜に新しいリサイクルプラントを建設した株式会社TBMと再商品化計画を策定し、環境省と経済産業省から認定をいただきました。

令和5年度から、これまで燃せるごみに出していただいていた桶やトレーなどの製品プラスチックを容器包装プラスチックと一緒に集積所にお出しいただき、それらを一括収集します。

令和4年11月から令和5年3月まではモデル地区として約6,000世帯の市民の皆様の実証事業として一括収集に協力いただいております、令和5年4月以降も継続したのち10月から市内全域で一括収集を実施する予定です。

一括収集したプラスチックは、株式会社TBMのリサイクルプラントに搬入しマテリアルリサイクルを行います。

容器包装プラスチックについてはこれまでもリサイクルしていましたが、今後は燃せるごみに入っていた製品プラスチックも合わせてリサイクルされますので、先ほどお話がありましたCO<sub>2</sub>の削減にも寄与すると思われます。具体的には、燃せるごみに含まれるプラスチック1トンの削減により2.7トンのCO<sub>2</sub>が削減されますので、効果としてはかなり大きいと考えています。

来年度以降、市民の皆様にご協力いただきながら、CO<sub>2</sub>の削減やプラスチックの資源循環を進めていきたいと考えています。

○佐藤委員長

ありがとうございます。資料1の質問・意見4に、災害時の対応について進行管理で具体的な施策等を記載するとありますので、資料2の新しいごみ処理基本計画における進行管理においても、災害廃棄物に関する記載項目を追加していただければと思います。

他にご質問やご意見はありますか。（織田委員が挙手しているのを見て）はい、織田委員。

○織田委員

エコミルが完成してからこれまで埋め立てていた製品プラスチックを焼却するようになりましたが、分別区分がわかりづらいと思います。分別変更をしても市民に対してなかなか分別が浸透せず、町内でもどのごみで出せばいいか混同しています。そのため、もっと末端まで浸透するような啓発をしていただければと思います。特に、町内会に入っておらずアパートに住まわれている方は、より分別が混同することがあります。最終的には町内会長が困ってしまうので、市のほうから指導をしていただきたいです。

○佐藤委員長

ありがとうございます。製品プラスチックの区分に関するご意見をいただきました。事務局から織田委員のご意見に対して、ご説明等あればお願いします。

○環境政策課長

青委員と織田委員からご意見をいただきました。減量化に関しては、明確な目標の設定は難しい部分があると思います。また、横須賀市では、平成13年度から容器包装リサイクル法に基づき容器包装プラスチックをリサイクルし、4分別収集を実施しました。4分別収集を開始する際は、市民の皆様への説明など大変なこともございましたが、皆様のご理解とご協力により、今現在も4分別収集が進められております。

プラスチック資源循環促進法による令和5年度の分別変更につきましても、ごみトークを実施し各町内会や自治会をお伺いして、丁寧に説明してまいりたいと考えております。

また、織田委員からご意見のありました町内会に入っていない方たちへの対応につきましては、久里浜収集事務所や廃棄物対策課、環境政策課含めて啓発及び指導を行い、ご理解いただけるよう取り組んでまいります。

○佐藤委員長

ありがとうございます。（上田委員が挙手しているのを見て）はい、上田委員。

○上田委員

資料2につきましては、ごみ処理基本計画の進行管理になりますので細部まで市民の方に見ていただくものではないと思いますが、1ページのごみ排出量については、市民の方がこの数字だけ見ても市民の方が理解するのは難しいと思います。

私の町内会では、毎月の集団資源回収の実績を昨年度と比較しながら管理しており、町内の方たちの協力がどのようになったか数字として見えるようになっています。ごみ量につき

ましても、地域ごとの算出は難しいですが、横須賀市内で発生するごみ量を数字で進行管理に記載するだけでなく、例えば広報よこすかなどを通じて市民の方に分かりやすく説明するといったと思います。

また、ごみの出し方の問題については、1～2回の説明で市民の方が理解するのは難しいと思いますので、市民の方が誤解して間違っ出さないよう丁寧に説明していただきたいと思います。

プラスチックのリサイクルにつきましても、青委員から見える化というお話がありましたが、市民目線で様々な情報を提供していただきたいです。

○佐藤委員長

ありがとうございます。市民目線で具体的な資料を作成していただき、広報資料を添付するなどの工夫をしながらイメージしやすい進行管理の作成を検討いただければと思います。

### (3) プラスチック一括収集に係る分別の名称について

○佐藤委員長

続きまして、「プラスチック一括収集に係る分別の名称について」の説明を、事務局よりお願いいたします。

○事務局

(資料3について説明)

○佐藤委員長

ありがとうございます。プラスチックを一括収集する場合、こういった名称で読んだらいいか、ご意見をいただきたいと思います。(関矢委員が挙手しているのを見て)はい、関矢委員。

○関矢委員

現在、容器包装プラスチックは容器包装プラスチックのみで収集し、製品プラスチックは燃せるごみとして収集していますが、ごみの収集曜日と品目はできるだけ変えないほうがいいと思います。分別を頻繁に変えるのは市民が一番困りますので、容器包装プラスチックの収集はそのまま、製品プラスチックは別で収集するほうが良いのではないかと思います。

○佐藤委員長

ありがとうございます。海洋プラスチックによる生態系の破壊や人々の生活への影響、海外でのプラスチックの輸入規制などの社会情勢を踏まえてプラスチック資源循環促進法が施行されました。プラスチック製品の設計から廃棄物としての処理に至るまでのライフサイクル全体を通じて、リデュースやリサイクルを推進していくことがこの法律の主旨だと思いますが、市民にわかりにくい形はできるだけ避けたほうがいいのではという意見をいただきま

した。

○関矢委員

資料4では組成調査の結果が記載されていますが、製品プラスチックは全体の約1割しか入っていない結果となっています。この約1割の分別変更のために係る費用や労力面の負担のほうが大きいのではないかと感じています。ごみの収集にも費用が生じたり、燃料を使用したりするので、分別の変更によってどれぐらいの費用効果や環境負荷があるのかを確認しほうがいいのではないかと思います。

○佐藤委員長

ありがとうございます。他にご質問やご意見はありますか。（織田委員が挙手しているのを見て）はい、織田委員。

○織田委員

国が施行した法律が市民にまで影響を及ぼしており、市民はプラスチック製品を製造しているわけではないですが、買ったものをごみとして排出するために右往左往して悩んでいます。法律の施行により「川上から川下へ」製造者責任として、例えば市民に分かりやすい分別表示を記載するなど、ごみとして排出されることまで考えて製造するようなメーカーの動きがあると、市民もより協力しやすくなるのではないかと思います。

○佐藤委員長

ありがとうございます。これまでのご意見について、事務局から説明がありましたらお願いいたします。

○環境政策課長

ご意見ありがとうございます。容器包装プラスチックという名称が定着していることや市民の皆様が分別に悩まれていることは重々理解しております。

市民の皆様の排出のしやすさにつきましては、新たにごみ袋をご用意いただく必要はなく、今分別していただいている容器包装プラスチックの中に製品プラスチックを入れてお出しいただくような形になります。また、関矢委員のお話にありましたように容器包装プラスチックとは別に製品プラスチックだけを出していただいても収集は行います。容器包装プラスチックをお出しいただいている日に製品プラスチックと一緒に排出されますので、収集におけるコストはあまり変わらないと思います。

○関矢委員

容器包装プラスチックの収集は現在週1回で、不燃ごみの収集は各月の1・3週目または2・4週目で収集しています。不燃ごみの収集が無い日に製品プラスチックを収集すれば現在の収集方法は変わらないまま収集日が増えるだけなので、収集の負担は大きくなりますが、市民にとってはその方がわかりやすいのではないかと思います。

○環境政策課長

市民の皆様の意見が分かれるところではあると思いますが、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一緒の袋に入れて出すことができるという点では実証事業において市民の方の理解を得られているのではないかと思います。

また、国の政策的にも市民の排出のしやすさという観点からプラスチックを一緒に出して構わないとしているので、それらの点を今後のごみトークで丁寧に説明させていただきたいと思います。

○佐藤委員長

ありがとうございます。（青委員が挙手しているのを見て）はい、青委員。

○青委員

資料3の名称（案）の案②「プラスチック 100」について、100%プラスチックと記載がありますが、どこまでのプラスチックを指しているのでしょうか。プラスチックと一括りにしてもバイオプラスチックで作られた容器包装やプラスチックをリサイクルして作られた再生プラスチックなど様々なプラスチックが世の中に出回っていますので、このような名称でいいのだろうかという疑問に思いました。

○佐藤委員長

ありがとうございます。藤田委員いかがでしょうか。

○藤田委員

案②の「プラスチック 100」よりも案①の「プラスチック資源」のほうがいいと思います。実証事業では「（仮称）資源プラスチック」としており、集団資源回収と混同されてしまうことが心配でしたが、プラスチック資源であれば問題ないのではないかと思います。

○事務局

ご意見ありがとうございます。案②については部内で名称を検討する中で挙げた意見で、攻めた名称ではあったと思いますが、100%プラスチックのみが対象であることがわかりやすく、また、市民の方々にプラスチックを意識していただけるようにという考えで候補の1つとさせていただきました。いただいたご意見を踏まえ、どのような名称にするか検討していきたいと思います。

**報告事項**

- (1) プラスチックの一括収集の実証事業の経過報告について
- (2) 食品ロス削減計画の策定について

○佐藤委員長

それでは報告事項に入ります。「プラスチックの一括収集の実証事業の経過報告」及び「食品ロス削減計画について」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

(資料4、資料5-1及び資料5-2について説明)

○佐藤委員長

ありがとうございます。報告事項についてご質問、ご意見等のある方はいらっしゃいますか。米村委員いかがでしょうか。

○米村委員

プラスチック一括収集の実証事業について、モデル地区のごみ全体を把握することが大事です。モデル地区から出るごみのうち、一括収集したプラスチック以外の分別で出されたプラスチックごみがどれくらいあるか調べ、市民の分別への理解度を確認する必要があると思います。その結果によっては市民への啓発内容も変わってくると思いますので、ぜひ調べていただきたいです。

○佐藤委員長

ありがとうございます。モデル地区から排出されるごみを全体像で把握したほうがいいのではないかとのご意見をいただきましたので、事務局で参考にしていただければと思います。

他にご質問、ご意見等のある方はいらっしゃいますか。菊田委員いかがでしょうか。

○菊田委員

プラスチック一括収集の実証事業において分別を変更することによる市民の反響はいかがでしたか。分別変更はスムーズだったのか、もしくは分別間違えなどがあったのか教えてください。

○事務局

ご質問ありがとうございます。モデル地区では比較的スムーズに分別を変更できたと思います。アンケートでは「容器包装かどうかに関係なくプラスチックとしてひとまとめになったので分かりやすい」といったご意見もいただいております。モデル地区の皆様には、すべてプラスチックでできたものを収集対象としている点などをわかりやすくお伝えしたと思いますので、大きな混乱はなかったと考えています。

○佐藤委員長

ありがとうございます。長谷川委員いかがでしょうか。

○長谷川委員

食品ロスについて事業者側から見ると、生ごみの処理に関しては苦勞しています。CO<sub>2</sub>削減に向けて取り組んでいかないといけないということで堆肥リサイクルも考えましたが、ランニングコストがかなりかかってしまうということで、実施に踏み切るのはなかなか難しいです。そのため、市のほうから少しでも支援していただけると取り組みやすくなるのではないかと思います。

また、生協ではフードドライブに関する呼びかけや回収などにここ2、3年で多く取り組んでいます。生協だけではなく、市全体でフードドライブの実施店舗等の周知を行うことで、フードドライブの取り組みを強化できるのではないかと思います。

○佐藤委員長

ありがとうございます。嘉山委員いかがでしょうか。

○嘉山委員

先ほど、製品プラスチックのみの収集を別の日に設けてはどうかというご意見がありました。同じところに搬入するのであれば一括収集でいいのではないかと思います。可燃ごみの収集がない日に製品プラスチックを収集するとなると、どのように収集するのが気になりました。

また、食品リサイクルに関しては、堆肥化や発電といったリサイクル方法によって分別の仕方が変わってきます。例えば各家庭で生ごみを出されたときに、その中に違うものが入ると堆肥化に支障をきたしますので、食品リサイクルを今後実施していく際はどのように分別を行い周知していくかが課題になると思います。

○佐藤委員長

ありがとうございます。（米村委員が挙手しているのを見て）はい、米村委員。

○米村委員

プラスチックのみでできているものの判別は市民にとって難しいと思います。例えば、内側にアルミが蒸着した容器包装プラスチックがありますが、市民は袋の外側のみを見て判別すると思われます。他にも、おもちゃや家具等に金属がついている場合は収集の対象とならないですが、市民の方にとってはわかりづらいと思いますので、丁寧に説明していただきたいと思います。また、説明の際には、一括収集したものがどのような流れでマテリアルリサイクルされて、どのようなものになるのか説明していただくと、市民の方により理解してもらえないのでしょうか。

○佐藤委員長

ありがとうございます。ごみの分別につきましては、市民の方々にご協力いただけるよう今後ごみトークを全市的に実施していくと思いますので、市民の疑問点を解消できるよう丁寧に説明していただきたいと思います。

また、今期の審議会は来年度の9月で終わりになりますが、実稼働した状態のエコミルをまだ見たことがないので、ぜひ見学して「どんなごみを焼却しているのか、焼却しているごみの中にどんなプラスチックが入っているか、どのくらい発電されてCO<sub>2</sub>が削減されているのか」などを把握しておきたいと考えています。併せて、一括収集したプラスチックのリサイクルを実施していく株式会社 TBM のリサイクルプラントを見学する機会を作っていただきたいと思います。事務局のほうでご検討いただけますでしょうか。

#### ○環境部長

エコミルの見学につきましては、ゴールデンウィーク以降に地元町内会等の見学を受付けさせていただく予定ですので5月末以降になるかと思いますが、日程等調整させていただきます皆様ぜひ足を運んでいただければと思います。

本日の審議会で委員の皆様から様々なご意見、アドバイス等いただきました。市民の理解を得るため、ごみトークや啓発活動を行う際は丁寧にご説明させていただきながら分別変更を進めなければならないと改めて感じました。

今回、池田町や吉井地区、新岩戸地区に実証事業のご相談をした際も、CO<sub>2</sub>削減や資源化のために協力しますという回答をいただきました。説明会を重ねていく中で、「良いことなので協力はするけど、慣れるまで時間がかかる」といったご意見もありましたが、皆様のご協力のおかげで滞りなく実証事業が進んでおります。新年度に入りましたら、市民の方々に丁寧に説明していきたいと思っております。

本日は、ご意見等いただきましてありがとうございます。

#### その他

##### (1) 今後のスケジュール

#### ○佐藤委員長

続きまして、その他について、(1)「今後のスケジュール」とありますので、事務局から説明をお願いいたします。

#### ○事務局

(当日配布資料について説明)

#### ○佐藤委員長

ありがとうございます。今後のスケジュールと当日資料に基づき令和5年度の分別変更についてご説明いただきました。当日資料の1の(仮称)プラスチック資源につきましては、本日も委員の皆様からご意見をいただきましたので、わかりづらい点は今後のごみトークで説明していただければと思います。そして、実証事業の結果につきましては、10月1日からの分別変更に反映していただければと思います。

また、次回ごみ処理基本計画の進行管理を行う際は、ごみ処理基本計画の冊子を委員の皆様が見れるようにご用意いただきますようお願いいたします。

それでは本日の議事はこちらで以上となります。今後の予定などについて、事務局から  
お願いします。

○環境政策課長

本日の議事概要につきましては、出席された委員全員に内容のご確認をいただいた後に、  
公開とさせていただきます。議事概要（案）は、作成次第、各委員に送付いたしますので、  
発言内容等のご確認をよろしくお願いたします。

○佐藤委員長

本日はお疲れ様でした。これもちまして、横須賀市廃棄物減量等推進審議会を閉会い  
たします。